



培養土作りが鉢作りの基本になります。絶対に欠かれない条件は、「水はけのよい培養土」ということです。次に必要な条件は「水持ちのよい培養土」といいます。第三には「培養土に空気の入るすき間があることが重要。培養土に空気が少ないと根が呼吸困難になり、水と肥料が吸えなくなります。この二つの条件をそろえれば、水に肥料を溶かした水肥を定期的にやりかえれば、ほとんどの野菜は立派に育ちます。



野菜の鉢作り (培養土)

実際には、米粒から大豆くらいまでの固粒土を基にします。赤玉土、もしくは粘土質の庭土でも結構です。これに極めの砂を半量から三分の一量加えてよく混ぜます。この混合土に、さらに樹皮たい肥を半量から三分の一量加え、よく混ぜ合わせて培養土です。肥料はN・P・Kの入っている化成肥料を培養土五斗に当たり小さな茶匙すりきり一杯の割合で混ぜて入れます。後は野菜の様子を見て水肥を与えればよいでしょう。

(園芸センター)

児童手当受給資格

4月1日から変わります



法改正により六十一年度から段階実施されている児童手当の受給資格が、最終年度にあたる六十三年度から変わります。

(六十三年度の受給資格)

義務教育就学前(五十七年四月二十日以前出生)の子供を含む十八歳未満の子供を二人以上養育している人

現在受給中でお子さんが今年就学(五十七年四月一日以前出生)の場合は、六月十五日(六十二年三月三十一日)の支給が最後となります。

(支給額)

(一)一人のお子さん……月額二千五百円

(二)三人のお子さん……一人につき月額五千円

当の受給資格が、最終年度にあたる六十三年度から変わります。

(現在第三子からの子手当を受給している人で)第二子(五十七年四月二十日以前出生)の子供を一人以上養育している人

健康保険証と印鑑を添えて、申請書提出して下さい。

(申請期間)

三月七日から三月三十一日まで。期間中に申請した場合は四月分まで支給されます。

既に該当していたと思われる人は随時申請して下さい。



新潟市史

明治十二(一八七九)年十月十八日、新潟市の有力者が相図って、東京への運米の委託販売を目的とする新潟物産会社を設立した。資本金は五百円、社長は上大川前通町、社長は鈴木長八、東京にも支店を置いて業務を開始した。

ウラジオ航空路の発端

これは「戦争になればウラジオ航空路」の軍用物資は、本國から輸送する事が出来ない。よって日本を供給地とした。ウラジオと西伯に間に

これは、新潟市史として、本報の物産をウラジオストックへ輸出した初めての通商貿易である。ところが、ロシア側が求めたのは食糧ではなくて、毛織物であったこと、また、ウラジオの地に在港した後に、ロシアと清國の間に

2月期払いの児童手当は (10月~1月分) 2月15日に 銀行口座に振り込まれます

職業・社会に関する講座 「変貌する新潟の経済」

国際空港、国際港、新幹線、高速道路を持つ日本海側交通の要衝、新潟。高速交通体系の整備とともに変化する新潟と経済のかかりや将来の新潟について考えてみませんか。

日時 2月23日~3月22日、毎週水曜日(5回コース) 午後6時半~8時半

会場 中央公民館(西堀通6、☎223-7070)

対象 市内在住、在勤の成人40人

申し込み 電話で会場へ

月日	内容	講師
2・23	新潟港の歴史と経済 暮来から開港まで	市郷土資料館長 三村 哲司
3・1	地方都市の魅力 都市間競争に打ち勝つ新潟の方向	新潟交通 取締役 石川 寛
3・8	国際港 新潟の空と海・その前途	新潟商工会議所 業務部長 渡辺 実
3・15	将来における新潟 新潟市100万都市経済圏構想	新潟経済社会リサーチセンター 常務理事 田中 孝
3・22	21世紀の道 どう生かす? 高速交通体系	北陸地方建設局 企画課長 福本 俊明



三島會社

三島會社は、新潟市史として、本報の物産をウラジオストックへ輸出した初めての通商貿易である。ところが、ロシア側が求めたのは食糧ではなくて、毛織物であったこと、また、ウラジオの地に在港した後に、ロシアと清國の間に

新潟市出身の作家 「安吾」の命日に 開催

日時 2月17日午後6時~8時(受付は午後6時半)

会場 護国神社境内

内容 記念講演ほか

参加費 無料

問い合わせ 事務局 ☎243-5530

ひとり暮らしの若者のために

実践都市生活講座

立って実践都市生活講座を二月十四日から毎週水曜日、五回にわたって開きます。どうぞ、参加下さい。

対象 市内在住、在勤の若者 三十人応募多数の場合は抽選

時間 午後六時半~八時半

会場 中央公民館(西堀通6、☎223-7070)

費用 六百元(当日徴収)

申し込み 二月十九日午後五時までに電話で会場へ

佐潟の野鳥に親しむつどい

日時 2月27・28日(1泊2日)

会場 興立青少年研修センター

対象 小学校5年生以上の人、先着50人

参加費 2,000円

申し込み 2月20日までに電話で会場(☎025-72-2111)

問い合わせ 西地区公民館(☎261-0031)へ

住まいの相談

日時 2月16日午前10時から

会場 市建築組合連合会

問い合わせ 会場(☎266-6650)へ

曾野木茶道教室

日時 2月23日~3月22日毎週火曜日

会場 曾野木地区公民館

対象 成人、先着20人

会費 2,000円

申し込み 電話で会場(☎280-6810)へ

あなたならではの手づくり作品を

「シルクスクリーン教室」

日時 3月1・8・15日午前10時~正午

会場 南地区公民館

対象 20人以上(応募多数の場合は抽選)

持参品 絵画(習字が日本画用)、鉛筆、古タオル

材料費 2,500円

申し込み 2月20日までに封書で住所、氏名、年齢、電話番号を明記し、返信用封筒(60円手紙をはる)を同封し会場(〒951-0800金沢山町90-5)へ

おはなしを楽しむ会

日時 2月18日午前10時半~11時半

会場 坂井輪地区公民館

内容 絵話や絵本の読み聞かせなど、大人に楽しめるお話の時間です

問い合わせ 坂井輪図書館(☎260-3242)へ

中地区公民館会場催し物

申し込み 電話で会場(☎271-0017)へ

日時 2月25日、3月3・10日午前10時~正午

対象 中地区在住の成人、先着50人

内容 上手な貯蓄の仕方~新築時代への対応(野村証券新潟支店次長)、老後の生活設計~年金のいろいろ(日本興業銀行新潟支店次長)、税について~還着、相続、贈与(安田信託銀行新潟支店次長、財務アドバイザー)

日時 2月26日午前10時~正午

対象 婦人、先着32人

材料費 700円

内容はまぐりずし、うしお汁ほか

婦人スポーツリーダー教室

日時 3月9日午前10時半~午後3時

会場 市体育館

対象 市内在住の家庭婦人でスポーツのリーダーとして活動している人

定員 先着200人

内容 「スポーツマッサージ」の理論と実践 佐藤博司(小学校長)、「卓球に挑戦しよう」市卓球連盟指導員

持参品 運動着・靴、卓球ラケット、筆記用具、昼食

申し込み 2月24日までに往復はがきで住所、氏名年齢、電話番号、籍目、所属クラブを明記し市体育課(〒951-一番通町3-12)へ

問い合わせ 体育課(☎223-6633~6634)へ